

顆粒状石灰散布による5齡期蚕座環境の改善

農業研究センター 農産園芸研究所 蚕業部

研究のねらい

蚕の生育は気象の影響を受けることが多い。特に、本県における夏秋期の高温、多湿、無風環境条件は、蚕の作柄及び繭質を大きく低下させる要因になっている。この改善策として、除沙回数増加、粉状消石灰の散布が奨められているが、効果が十分でなく、除沙力を多く要するうえに、散布作業が非衛生的である。

このことから、作業が衛生的で、しかも労力がかからず、効果的な顆粒状石灰散布による蚕座環境改善について試験を行った。

研究の成果

1. 5齡期無除沙の蚕座に顆粒状石灰を散布すると、蚕沙の発酵を抑制できるため、蚕座内の温度が1～3℃低下する。特に、初秋蚕期の高温時に効果が高く、減蚕歩合を少なくでき、作柄が向上するため、収繭量が増加する。
2. 繭質も向上して、繰糸成績にも影響はない。
3. 無除沙のため、除沙の省力化が図られる。
4. 従来の粉状消石灰に比べ、顆粒状のため散布時の飛散が少なく、衛生的である。また、散布むらがなく、蚕座内に良く拡散する。
5. 蚕種1箱当たりの経費は、粉状消石灰と同程度の約105円である。
6. 顆粒状石灰の散布は、給桑前の桑葉を食い切った状態の蚕座に1日1～2回散布する。

その量は、1㎡当たり50gを目安にする。

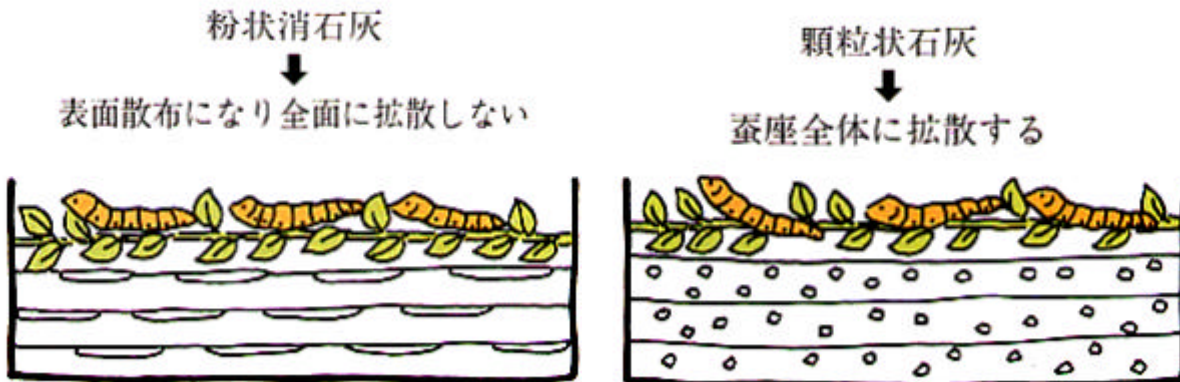
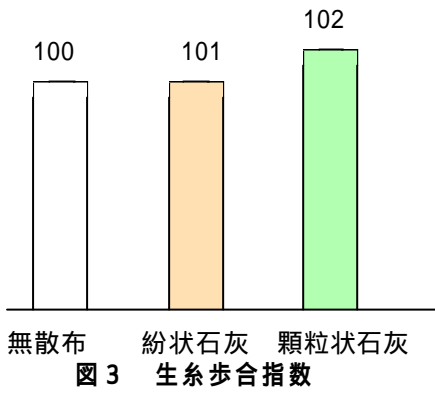
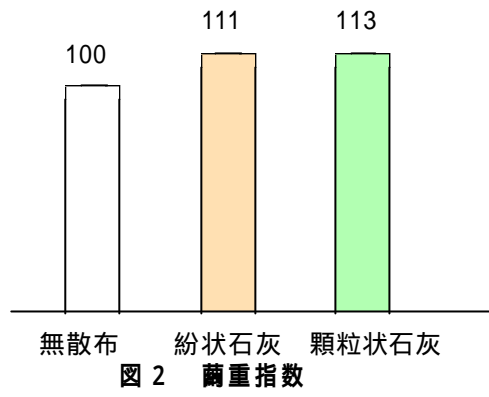
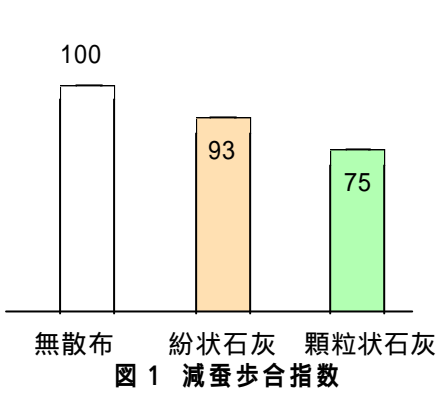


図 4 蚕座の立体図